

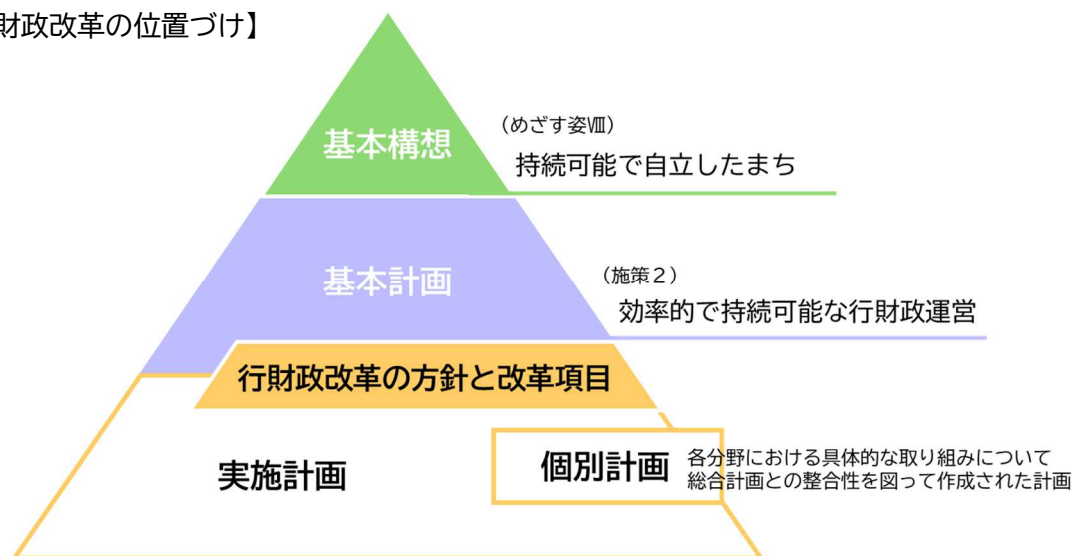
3 行財政改革について

本市では昭和60年度以降、効率的かつ効果的な行財政運営を推進するうえでの方向性を示すものとして行政改革大綱を四次にわたり策定し、行政改革に取り組んできました。しかしながら、行政改革に終着点はなく、引き続き、時代の変化を機敏に捉え、その時代に求められる行政改革に取り組んでいく必要があります。

今後の行政改革は、本市がめざすべき将来都市像の実現に向けた様々な取り組みを支える川口市のまちづくりに関する最上位計画である「総合計画」との連動性をより一層高め、一体的な運用を図っていきます。

そこで、行政改革大綱を総合計画に統合し、第6次川口市総合計画「めざす姿Ⅷ 施策2 効率的で持続可能な行財政運営」を、これまでの行政改革に財政的観点も絡めた本市の**行財政改革**における「めざすべき方向性」と位置づけるとともに、それを実現するための改革項目などについて実施計画で定め、その不断の追求に取り組んでいくこととします。

【総合計画上の行財政改革の位置づけ】



(1) 基本方針と改革項目

第6次川口市総合計画において「めざす姿Ⅷ 施策2 効率的で持続可能な行財政運営」で掲げている4つの単位施策を、本市の行財政改革における基本方針とします。あわせて、その実現に向けて取り組む改革項目を次のとおり定めます。総合計画の各施策の評価に行財政改革の視点を取り入れることで、各施策の更なる効率的かつ効果的な実行が期待されます。

1 健全財政の維持

1-1 財政規律の徹底

1-2 未納額の圧縮による市税収入の安定的確保

- 1-3 新たな財源の確保
- 1-4 使用料をはじめとする受益者負担の適正化
- 1-5 限られた資源を効率的・効果的に活用する事務事業の見直し
- 1-6 各種評価の活用・予算編成との連携

2 公共施設マネジメントの推進

- 2-1 集約化や複合化の検討による施設総量の適正化
- 2-2 予防保全型による計画的な維持管理
- 2-3 指定管理者制度導入といった公共施設の効率的な運営

3 DXの推進

- 3-1 デジタル技術による業務効率化の推進
- 3-2 デジタル化による質の高い行政サービスの提供
- 3-3 安全なネットワーク環境の構築と情報セキュリティの確保

4 人材の確保・育成と組織の最適化

- 4-1 多様かつ優秀な人材の確保
- 4-2 ワーク・ライフ・バランスの推進ならびに執務環境の向上
- 4-3 人材の育成と職員の意識改革
- 4-4 定員管理の適正運用
- 4-5 合理的かつ効果的な組織体制の構築
- 4-6 外郭団体等の運営の見直し

(2) 改革の視点

事務事業の合理化・簡素化や無駄を省くなど、財源の効率化・スリム化を主とする「量の改革」とともに、最小の経費で最大の効果があげられるよう、市民満足度を高める質の高いサービスの提供を主とする「質の改革」にも取り組みます。

(3) 推進手法

行財政改革を実現するための具体的な取り組みは、総合計画「めざす姿Ⅷ 施策2 効率的で持続可能な行財政運営」に基づく実施計画又は個別計画において計画、実施するとともに、進捗管理及び検証を行うものとします。

また、今後の行財政改革の推進体制については、実行性の確保に向けて現在検討しております。